

めい じ
明治

たい しょう
大正

しょう わ ぜん き
昭和前期

しょう わ こう き
昭和後期



せんたく^{いた}板とたらい

むかしのせんたくは、1まいずつ^て手あらいだった。たらいに^{みず}水を入れ、せんたく^い物をせんたく^{もの}板に^{いた}こすりつけてあらう。ぎざぎざの^{みず}みぞに、せっけんの^{みず}水がたまって、よごれがおちやすくなる。

しょうわ ぜん き
昭和前期

しょうわ こう き
昭和後期



ローラー付きせんたくき

じ どう
自動であらうことができる。あらったせんたく物^{もの}は、1まいずつローラーに通^{とお}して水^{みず}をしぼった。

しょうわ こうき
昭和後期

へい せい
平成



にしき 二そう式せんたくき

せんたくきの^{なか}が2つにわかれている。^{ひだり}左はあらうところ。^{みぎ}右はせんたく物の^{もの}水を^{みず}しぼるところ。
せんたく物の^{もの}いちど^いじどう^じでしぼることができた。



いま：全自動せんたくき

せんたく^{もの}物をあらう、すすぐ^{みず}、水をしぼる、すべてを自動^{じどう}ですることができる。せんたくきができて、多くの^{おお}
 せんたく^{もの}物を自動^{じどう}であらうことができるようになった。せんたくにかかる時間^{じかん}とくろう^{すく}は少なくなった。